

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (03/05/07ウォシュレット一体形便器 (CES981・983・987) 用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため) 特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

**注)** CES981・CES983はアフターサポート期間が終了しているため、特殊コードラベルは発注不可です。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ ) 1	(タ イ 2 プ ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ ) 1	(タ イ 2 プ ) 2
(タ イ 3 プ ) 3	(タ イ 4 プ ) 4	(タ イ 5 プ ) 5	(タ イ 3 プ ) 3	(タ イ 4 プ ) 4	(タ イ 5 プ ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 <<本体側の設定方法>> ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順

1

運転  
 本体操作部の **入/切** を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

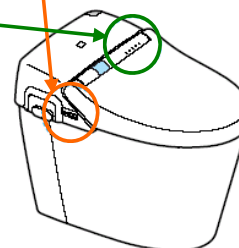
本体操作部

運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電 ● センサー ↓ 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電 ● センサー ↓ 0 運転 ● 便座 0 脱臭 0 節電 0 センサー	緑色全点灯 ↓ 節電→橙色点灯 その他→緑点灯 ↓ ランプが点滅したらやり直してください。
--	--

<<下図は例です>>

本体操作部

運転	流す	ビデ	おしり
入/切	大	入/切	入/切



2

運転  
**入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、  
 すぐに **ビデ**  
**入/切** を5秒以上押す。

↓

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

運転	流す	ビデ	おしり
入/切	大	入/切	入/切

3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 **入/切** を押したまま、おしり **入/切** を押す。

↓

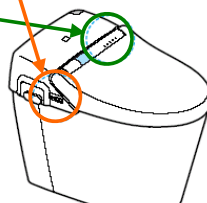
おしり **入/切** を押す度に標準→特1→特2…特9→標準  
 と設定が切り替わります。

本体表示部

LED種別	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
センサー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎
脱臭	◎	◎	×	×	◎	◎	×	◎	◎	×
便座	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎
運転	◎	×	◎	×	◎	×	◎	◎	×	◎

◎…点灯 ×…消灯

運転	流す	ビデ	おしり
入/切	大	入/切	入/切

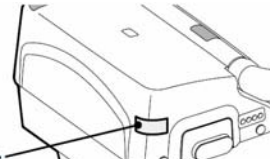


4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 **入/切** から手を離れた時点で設定したコードになる。

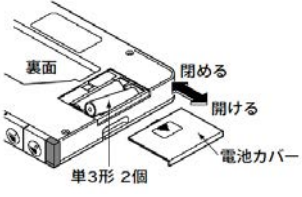
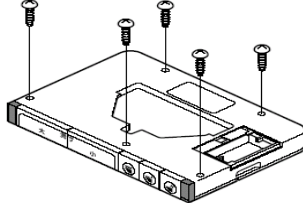
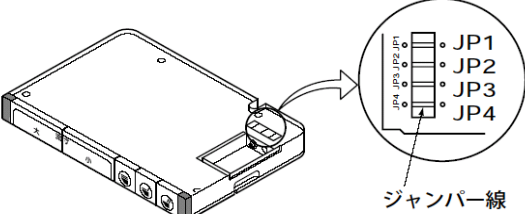
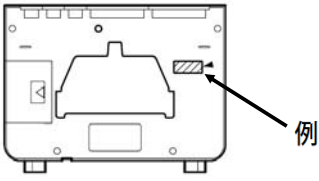
5



ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

## &lt;&lt;リモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																		
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																																		
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではなく、裏板を取りはずす。</p>																																																																		
3	 <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りすぎがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="239 1176 997 1377"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパー線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパー線											JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
ジャンパー線																																																																			
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																																									
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																																									
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																																									
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																																									
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																																		
5	 <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p> <p>例 リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>																																																																		

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)